

策定日：2026 年 8 月 26 日

公益財団法人ミダス財団

ジェンダー主流化ポリシー

1. 目的

本ポリシーは、公益財団法人ミダス財団（以下「当財団」という。）が、ジェンダー平等を重要な組織原則として位置づけ、組織運営および事業活動の全般にジェンダーの視点を取り入れるための基本方針を明らかにするものです。

本ポリシーを通じて、当財団の役員、評議員および職員がジェンダー平等とジェンダー主流化について共通の認識を持ち、それぞれの業務において適切に実践するとともに、当財団の立場と取組方針を関係者に示すことを目的とします。

本ポリシーに示す基本方針を具体的な業務に反映するため、別に定める「ジェンダー主流化チェックリスト」を併用します。

2. 適用範囲

本ポリシーは、当財団の役員、評議員、職員およびその他当財団の組織運営または事業活動に従事する者に適用し、当財団が行う組織運営および事業活動の全般を対象とします。

当財団は、委員、講師、外部専門家、受託者、共同実施団体、取引先その他の関係者に対しても、本ポリシーの趣旨を共有し、その立場および当財団との関係に応じて、理解と協力を求めます。

3. 用語の定義

本ポリシーにおける主な用語の意味は、次のとおりとします。

(1) ジェンダー

性別に関して、社会や文化の中で形成される役割、規範、期待、価値観および関係性をいいます。本ポリシーでは、男性または女性という区分だけでなく、多様な性自認や性のあり方を含むものとします。

(2) ジェンダー平等

すべての人が、性別や性自認等にかかわらず、等しく尊厳と権利を保障され、機会、資源、参加および意思決定において、不合理な不利益を受けない状態をいいます。ジェンダー平等は、すべての人を一律に同じように扱うことではなく、それぞれの状況や異なるニーズを踏まえて、公平な機会を確保し、実質的な平等を目指すことを含みます。

(3) ジェンダー主流化

当財団の組織運営および事業活動の企画、実施その他の各段階において、性別やジェンダーによって異なる影響、ニーズおよび参加上の障壁を考慮し、ジェンダーによる不平等を生じさせ、または強めることのないようにする取組をいたします。ジェンダー主流化は、ジェンダー平等を実現するための手段として位置づけます。

4. 基本原則

当財団は、ジェンダー平等およびジェンダー主流化を進めるに当たり、次の原則を重視します。

(1) 人権と尊厳の尊重

すべての人が、性別や性自認等にかかわらず、等しく尊厳と権利を有することを基本とし、一人ひとりを尊重します。

(2) 非差別と多様性の尊重

性別や性自認等を理由とする差別や排除を容認せず、多様な性や立場、経験、価値観を尊重します。

(3) 実質的な平等と障壁の除去

すべての人を一律に扱うことだけを平等とせず、それぞれの状況やニーズの違いを踏まえ、参加、利用および意思決定を妨げる不合理な障壁や格差の把握と解消に努めます。

(4) 多様な人の参加と意見の反映

組織運営および事業活動において、多様な性や立場の人が参加し、意見を表明できる機会を大切にし、その意見を企画や意思決定に適切に反映するよう努めます。

(5) 不平等や固定観念を生じさせないこと

当財団の組織運営および事業活動が、固定的な性別役割や偏見を強めたり、特定の人に不利益や負担を生じさせたりしないよう、その影響に留意します。

5. ポリシーの実践

当財団は、本ポリシーに定める基本原則を、組織運営および事業活動の双方に反映します。

組織運営においては、採用、配置、育成、意思決定、業務分担および就業環境等におけるジェンダー平等に努めます。また、事業活動においては、企画、実施、広報その他の各段階で、性別やジェンダーによる異なるニーズ、影響および参加上の障壁に配慮します。

具体的な業務上の確認には、別に定める「ジェンダー主流化チェックリスト」を活用

します。また、組織運営・事業活動で「ジェンダー主流化チェックリスト」を活用した際は、結果を記録し運営します。

6. 実施責任・公表・見直し

当財団の役員、評議員および職員は、それぞれの職務に応じて本ポリシーを理解し、組織運営および事業活動に反映する責任を持ちます。

本ポリシーの実施責任は、国内事業統括が負うものとします。組織運営・事業推進でジェンダー主流化がなされていないことが判明した場合は、コレクティブアクションを取り、報告することが求められます。

当財団は、本ポリシーを役員、評議員および職員その他の関係者に周知するとともに、ウェブサイトにより公表します。また、必要に応じて、本ポリシーに基づく取組の状況を関係者に共有します。

当財団は、社会状況、関係法令、事業内容および本ポリシーの運用状況等を踏まえ、定期的に本ポリシーを見直し、必要に応じて改訂します。